

授業概要

公務員科

| | | |
|-------------|--|-----|
| 科目名 | 社会科学 I | |
| 担当教員 | 柳下典之 | |
| 対象学生 | 公務員専攻科1年 | |
| 曜日・時間 | 66コマ 59時間 | |
| 授業形態 | 講義(50%)、グループ学習(30%)、演習(20%) | |
| 科目の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験で出題される社会科学の範囲のうち、問題を解くために必要な基礎となる重要事項を学習する。 ・上記で学んだ重要事項を使って、実際の試験問題が解けるようになる。 ・内政および国際社会についての時事問題に関心が持てるようになる。 | |
| 授業の到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験に出題される社会科学の範囲のうち、70%の正答率が達成できるようになる。 ・面接試験等で、社会への関心が問われた際に、自分の意見が述べられるようになる。 | |
| 授業方法・学習上注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業には、予習と復習の課題が用意されているので、課題の提出を怠らないこと。 ・公務員として求められる資質として、積極性と協調性が必要であることを理解して、話し合いには積極的に参加すること。 | |
| 成績評価の方法と基準 | <p>考查点50%、授業態度15%、課題等の提出点15%、確認テスト20%</p> | |
| 使用テキスト | <ul style="list-style-type: none"> ・TAC公務員試験・地方初級・国家一般職(高卒者)社会科学テキストおよび問題集 ・教員の準備する講義資料 | |
| 教材・参考文献・図書等 | <p>政治経済、現代社会、倫理の高校教科書および資料集、公務員試験の過去問</p> | |
| 授業計画(内容) | | コマ数 |
| 政治 民主政治 | (社会契約論と現代民主主義確立の歴史) | 2 |
| 日本国憲法 | (日本国憲法の原則と大日本帝国憲法との比較) | 2 |
| 基本的人権① | (平等権と自由権) | 2 |
| 基本的人権② | (社会権・参政権・請求権) | 2 |
| 国会 | (国会の組織と権限) | 2 |
| 内閣 | (内閣の組織と権限) | 2 |
| 裁判所 | (裁判所の組織と権限、裁判の種類) | 2 |
| 地方自治 | (地方自治の特色と直接請求) | 2 |
| 選挙と政党 | (日本の選挙制度と政党制の特徴) | 2 |
| 国際政治 | (国際組織の歴史と種類) | 2 |
| 経済 市場の形態① | (経済学の歴史と会社の種類) | 2 |
| 市場の形態② | (需給の関係と寡占の形態) | 2 |
| 金融政策① | (インフレ・デフレと日銀の役割) | 2 |
| 金融政策② | (日銀の金融政策) | 2 |
| 財政政策 | (政府の財政政策と通貨制度) | 2 |
| 国民所得 | (国民所得の計算式と景気の波) | 2 |
| 国際収支 | (国際収支と経済機構) | 2 |

| | | | |
|------|-----------------|---------------------|------|
| | 戦後の経済史 | (戦後の世界経済の歴史) | 2 |
| 社会 | 労働 | (労働者の権利と労働組合) | 2 |
| | 社会保障 | (日本の社会保障制度の種類) | 2 |
| | 青年期 | (青年期の特徴と防衛機制) | 2 |
| | 現代社会 | (現代社会の問題と消費者保護) | 2 |
| | 東洋思想 | (諸子百家と日本思想の歴史) | 2 |
| | 西洋思想 | (古代ギリシア思想と近代～現代の哲学) | 2 |
| 問題演習 | 問題集や過去問を使った実践演習 | | 18 |
| | | 合計 | 66 |
| | | 授業時数 | 59.4 |